



ご挨拶

特非) さいたま市学童保育の会
理事長 新井淳一

皆様、日頃は学童運営にご参画いただき、誠にありがとうございます。

「さいたま市学童保育の会」は全国でも類を見ない60箇所以上もの「保護者会運営の民間学童の集まり」として、個々の学童の良さを大切にしながら、どの学童でも同一保育・同一負担、同一労働・同一賃金の理念を掲げ、さいたま市から委託事業として運営されている学童です。保護者は子どもを預けるとともに運営も担い、指導員は子どもの遊びや生活の世話をするだけでなく、子どもに寄り添い、子どもの成長と発達をサポートする専門性をもった正規職員として信念を持って保育に取り組むことにより成り立っている共同運営体です。

2021年度もコロナウイルス感染が続き、オミクロン株では子どもへの感染も広がりいくつかの学童で一時的閉所を強いられました。一方で感染防止対策にも慣れてきて保護者も子どもたちも新たな行動様式が普通の日常習慣として行えるようになってきたと見受けられます。理事会や運営委員会の開催もZOOM利用がすっかり定着しました。しかしながら保護者会運営はリアルで会うことができないために動きがとりにくいという話も聞こえているのは昨年同様です。子どもの健やかな成長のためには保護者会という仕組みの中で保護者と指導員とがよく話し合い手を取り合っけて学童を運営していくことが極めて重要だと考えていますので、社会的な状況を鑑みながらにはなりますが、どのようにコミュニケーションをとっていくのか、皆様と考えていきたいと思ひます。

私たちの学童は、ただ単に子どもを預ける場所ではなく、子どもたちが安心して落ち着いた環境で友達と思い切り遊べる楽しい場所にしていくことで、そして学童の特長である異学年との交流、指導員や保護者といった多くの大人との交流を通じて、子どもの社会性を育み、健やかな成長につながる場所であると考えています。学校や塾・習い事とはまた違う貴重な体験を得られる時間と思ひます。保護者にとっても身近に子育てについて話ができる仲間が増え、視野が広がり、子どもと過ごす時間がより豊かになるものと信じています。

学童が子どもたちにとって楽しくて毎日行きたい場所になるように、保護者にとって学童を利用してよかったと思ひえる場所になるように、子どもに寄り添い、心を寄せ合い、みんなで子どもを見守っていける、そんな学童であってほしいと願っています。



NPO 法人 さいたま市学童保育の会 2021年度事業報告書

1. 活動内容

1) 事業

① 子どもの健全育成を図る活動

- a) 民間運営による保護者が安心して働ける子どもの放課後の施設及び保育体制をつくること。
b) 指導員が安心して働ける雇用体制。

② 男女共同参画社会の形成を促進する活動

2) 体制

- ① 2021年度 62学童 児童数 4月1日 2,270人
② 年間延べ児童数 25,201人、在籍率 92.6%
③ 指導員体制 正規指導員 全体 124名（内欠員 8.3名相当）パート指導員 のべ 600人、事務局職員 5名



	地区	学童名	4月 児童数	加配 対象 児童	年間 児童数		地区	学童名	4月 児童数	加配 対象 児童	年間 児童数
1	大宮区	桜木げんごろう	37	2	412	32	見沼区	えびっこ	56	1	616
2		桜木じゃりんこ	41	2	453	33	緑区	三室あおぞら	49	1	506
3		桜木ダンデライオン	41	1	452	34	岩槻区	川通	23	1	276
4		桜木はやぶさ	40		449	35	南区	田島げんきっ子	36	3	442
5		大宮南なかよしキッズ	37	1	425	36		向ひまわり第1	47	1	503
6		大宮南すまいるキッズ	27	1	291	37		向ひまわり第2	24		297
7		大宮南にじいろキッズ	23		244	38		わくわく子供の家	31		342
8		大宮南みらくるキッズ	31	1	378	39		辻わくわく子供の家	26		292
9		大宮南そらいろキッズ	32		303	40		善前かえでクラブ	27	1	309
10		大宮小あおぎりっ子にじ	42	1	465	41	善前すみれクラブ	32	1	300	
11		大宮小あおぎりっ子うみ	42	1	523	42	浦和区	太陽の家	40		477
12		大宮小あおぎりっ子そら	61	1	552	43		領家サファイア	36		398
13		大宮北小たけのこクラブ	33	1	366	44		領家ルビー	36		407
14		大宮北小まつのこクラブ	35	1	379	45		北浦和スターズ	32		386
15		大成パンダ	36	2	430	46		北浦和ドリームズ	21		260
16		大成イルカ	49		565	47		北浦和レインボーズ	32		349
17		大成カモメ	49	1	548	48		木崎ペガサス	39		437
18		大成コアラ	37	2	400	49		木崎スピカ	42	1	520
19		大成ツバメ	48	2	562	50		上木崎ユニコーン	24		298
20	指扇風の子	36	1	391	51	上木崎フェニックス		23		256	
21	指扇にじのこ	37	1	416	52	上木崎グリフォン	30		331		
22	指扇そらの子	48		534	53	桜区	たんぽぽ	16		174	
23	指扇北のびのび	34	1	352	54		西浦和さくらっ子第1	58	2	667	
24	指扇北すくすく	37	1	361	55	西浦和さくらっ子第2	28	0	321		
25	指扇北きらきら	42		480	56	中央区	円阿弥つくしんぼ	53	0	535	
26	指扇北にこにこ	31	1	354	57		シリウス	61		672	
27	さくらそうわかば	44		487	58		新都心ジュピター	39	1	449	
28	さくらそうふたば	48	2	549	59		新都心マーキュリー	23		248	
29	大砂土わんぱくキッズ	27		297	60		新都心アース	37		382	
30	大砂土山ねこ	39		406	61		のっばら第1	32		315	
31	大砂土にこにこキッズ	26	1	321	62	のっばら第2	27		291		
							合計	2270	41	25201	

3) 決算報告 数値の詳細は P19～30 参照

収入

①保育料と児童割加算

予算は 4 月 1 日児童数に、年間の在所率をかけて算出しています。

2021 年度は年間 96%の在籍率としていましたが、2021 年度もコロナ禍の生活となり、保護者のリモートワーク、利用自粛が継続した後の退所等があり、年間の退所児童は 908 人となりました。この数年では多い人数です。

この影響により 2021 年度の収入は保育料収入が

770 万円、児童割加算も 234 万円、合計で 1,000 万円を超える減収となりました。

学童保育所は「子どもの居場所、育ちの場」として大切な子ども達の居場所です。コロナ禍だからこそ、子ども達にとってかけがえのない居場所となるよう、保護者、指導員共に力をあわせて環境作りに取り組んでいきましょう。

②さいたま市からの補助金

2021 年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により 1 月 27 日～3 月 21 日までの期間、学童保育の利用自粛要請が発出されました。この期間分の保育料返金が発生しま

したが、さいたま市より「利用料減免事業」として保育料返金分の補助がありました。

その他、合計 81,425,753 円の補助金が支給されました。詳細は P29 参照。



支出

① 人件費

①正規指導員は 28 名の採用があったものの、退職者も 20 人にのぼりました。結果として年間で 100 ヶ月分（8.3 人分相当）の欠員。紹介会社を利用した費用は概ね 10 人分、4,432,285 円を支出しました。

②パート指導員の欠員も深刻でした。中間決算後、理事会で話し合いを重ね、時給を 100 円底上げすることとし、2 月勤務分から反映されています。求人広告費用は 4,144,605 円を支出しました。

③正規指導員超勤経費は 12,092,616 円。2021 年度は NPO 全体で負担する超勤経費を定め、NPO 全体経費分は 11,279,403 円を支出。保護者会負担分は 5 クラブ 813,213 円ありました。

④保護者会の独自事業として長期休暇時の時給上乘せ等を実施しているクラブは 25 ヶ所あり、総額で 1,717,209 円でした。

② 指導員研修費 P31 参照

例年、全国研究集会が実施され全国の指導員・保護者が一堂に会し子ども達のための勉強会を行ってきました。ですが、今年度はリモート開催となり旅費の支出はありませんでした。

指導員研修委託費は、これまでの繰越金で賄われたことから、改めての集金はありませんでした。

また、指導員研修委託費の内容を指導員、保護者と見直しを行い、研修参加費となる交通費、参加費はそれ

ぞれの運営体が直接負担をすることに改められました。研修委託費は交通費、参加費以外の研修づくりに際して必要とされる経費分を各運営体から徴収されることになりました。

P31 に今年度実施の研修一覧表を掲載していますので参照ください。来年度以降は有料研修の参加人数も報告できるようになります。



③ 補助上限を超える施設経費の運営体負担 P30 参照

学童保育所の施設は、公設施設を利用している 15 クラブの他は、賃貸物件を利用しています。
家賃は、行政の補助で賄うこととなっていますが、補助では賄いきれない分は学童保育の会が費用負担をしています。保育施設は行政が負担すべき費用です。保護者の負担軽減のためにも今後も家賃補助の増額を行

政に要望していきましょう。
また、共益費は補助対象ではないことから学童保育の会の費用負担となっています。
補助額では足りない家賃の総額 4,589,355 円
管理費等補助対象外の費用総額 858,000 円

④ AED 設置

公設施設ではさいたま市が直接設置。2021 年度から民間施設での AED 設置費用もさいたま市から補助が出るようになりました。現在は 46 クラブに設置されています。

- AED 設置費用 1,638,120 円



⑤ 新型コロナウイルス感染症支援対策事業

今年度も新型コロナウイルス感染症対応の手当、消毒等の備品購入費の補助がありました。感染症対応手当は全体で 17,464,310 円、備品は 5,847,523 円でした。

P29 参照

⑥ 新規事業会計の活用

新規事業会計は入所金の 1 万円を収入源とする会計。学童の新設・分離・移転の際に契約金の費用や改修費補助金の学童負担分などに充てられています。

2021 年度新規事業会計利用

【新設クラブ】指扇北にこここ・大宮南そらいろキッズ・のっばら第 2

【クラブの改修】北浦和スターズ（隣家境界壁の設置）大宮南すまいるキッズ（2 階階段手摺の転落防止改修）

2. 移転・分離・新設の活動

2021 年度は 3 学童が分離、1 学童の校内移転が実現

指扇北にこここ

西大宮駅前開発内が学校区となっている指扇北小学校では、5 年程前から児童数増を見越して施設探しを進めてきました。2020 年度地元の方のご厚意で学童施設を建ていただき、指扇北きらきらが開設。2021 年度は 2 階に「指扇北にこここ」が開設しました。

大宮南そらいろキッズ

さいたま新都心駅が近い、大宮南小学校区。すでに 4 クラブ 160 人分の施設がありましたが、大型マンション建設により施設が不足。保護者が数年越しで施設探しを行い、地域の自治会館となっている 2 階を学童施設としてお借りすることができました。これで定員は 200 人分になりました。

のっばら第 2

浦和仲町小学校区にすでに開設していた「のっばら」のきょうだいクラブ。公設クラブに入れなかった保護者が作り運動を行い、地元の方に学童施設の建設をしていただきました。1 階はのっばら第 1、2 階にのっばら第 2 を開設。現在は仲町小、与野南小、土合小の 3 校対象で運営されています。

田島げんきっ子

これまで 3 階建ての民家をお借りしていました。定員が 20 名に満たず、子ども達が溢れんばかりの状況でした。保護者の働きかけ、地域の市議さんの働きかけで、小学校内の余裕教室を利用できるようになり、2021 年 4 月に移転が完了しました。



3. 行政との関わり その他

1) 国の新事業「育成支援体制強化事業」にむけ全クラブで取組み

「育成支援体制強化事業」は指導員の保育に係る周辺業務を担うために必要な人件費、保護者会が行っている保育料徴収の会計業務を行う職員の人件費として用意されたものです。新たな事業であったことからクラブ毎に「周辺業務」を書き出し、さいたま市へこの制度の導入を求めて提出をしました。

2022年度からのさいたま市の導入に繋げることが

でき、児童数に応じて最大 1,443,000 円の委託料が支払われることになりました。しかしこの制度は従来の「児童割加算」と置き換えになったことから周辺業務を担うための新たな職員を配置するまでに至っていません。制度を十分に活用できるように今後もさいたま市へ働きかけていくことが必要です。※クラブ毎の委託料は P35~38 参照。正規指導員の保育準備にかかる時間帯の経費、事務局職員人件費、給与計算等の社会保険労務士費用として活用されます。

2) 整備促進補助金の利用

2021 年度の整備促進補助の利用は次の通りです。 合計 2,398,856 円

学童名	目的	礼金・前家賃	備品費	改修費	合計
指扇北にこにこ	分離開設	406,400 円	200,000 円	1,292,456 円	1,898,856 円
大宮南そらいろキッズ	分離開設	公設利用	200,000 円		200,000 円
のっばら第 2	分離開設		200,000 円		200,000 円
田島げんきっ子	移転開設		100,000 円		100,000 円
【改修工事にかかる補助金給付】					
大宮南すまいるキッズ 68,640 円、北浦和スターズ 474,848 円					



3) 放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業

2022 年 2 月から処遇改善を目的とした新たな補助金がありました。今回の処遇改善は正規だけでなくパート・アルバイトまで対象です。この補助金により正規指

導員は 11,000 円/月、パート指導員には 55 円/時給の上乗せが実現しました。

2021 年度は総額 4,358,200 円を申請しました。

4) 処遇改善費補助金

2018 年度から開始されている処遇改善費補助金。対象は正規指導員と月給制パート指導員です。2021 年度の支給総額は 26,066,000 円でした。

経験年数	1~5 年	6~10 年	11 年以上
処遇改善額(月)	14,200 円	24,200 円	34,200 円
受給人数	85 人	24 人	14 人



5) 新型コロナ感染症拡大防止に伴う補助

新型コロナ感染症防止対策にかかる、かかり増経費、消毒液等の備品費の補助は施設の規模に応じた金額設定となりましたが、2021 年度も継続されました。

それぞれの補助金の詳細は P29 を参照ください。

総額 51,001,553 円

新型コロナウイルス感染症対策

利用料減免事業 1

市が新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るために放課後児童クラブを臨時休業させた場合等の日割り利用料について、事業者が保護者へ返還した場合等の経費 児童 1 人月額利用料を日割りにより返還等する額。

期間：令和 4 年 1 月 27 日から同年 3 月 21 日

利用料減免事業 2

クラブや小学校でコロナの陽性が判明し、市が利用自粛を要請した期間が利用料返還の対象。

新型コロナウイルス感染症支援対策事業

①新型コロナウイルス感染症の感染防止のための備品購入等に要する経費

②放課後児童クラブの職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続するために必要な経費

1. 研修受講に要する経費（研修参加費など）

2. コロナウイルス感染症対応に係る人件費

職員が勤務時間内や勤務時間外、休日に通常想定していない感染症対策に関する業務(施設消毒など)を実施した場合の手当に要する費用

【委託基準額】 経費①と経費②あわせて

定員 ～19 人 300,000 円

20～59 人 400,000 円

60 人以上 500,000 円

6) 行政研修の参加

さいたま市では放課後児童支援員研修が 6 講座実施されていますが、今年度は新型コロナ感染症拡大の影響で会場が開けず 4 回の実施となりました。



新人指導員研修会 年 2 回開催 (5 月 10 月)

安全・衛生管理研修会 7 月開催

児童理解研修会 年 2 回開催 (9 月・10 月)

中期研修 11 月 (中止)

児童虐待防止研修会 11 月開催

公設・民設合同研修会 1 月 (中止)

4. 理事会

2021 年度はコロナ禍にあり、通年リモート開催となりました。

リアルで実施できない寂しさはあったものの、参加率は高く多くのみなさんと意見を交換できました。

1) 指導員の超勤代全体負担を検討

これまで指導員の超勤は 19 時以降に発生していることを前提に考え、各会で負担をしてきました。

2021 年度は次の 3 点を念頭に置き、全体で負担する超勤代を整理してきました。

①ほぼ必ず、どの学童でも発生するであろう超勤

②個別学童の事情で発生する超勤

③突発的に発生する超勤

この中で、①の超勤費用を全体予算化する方向で検討をしました。

【全体負担の超勤】

指導員の職員会議では、仕事の棚卸しを行い各会の業務の内容、手順等の情報共有を実施。

月間変形労働制の有効な活用等も考え合い整理してきました。

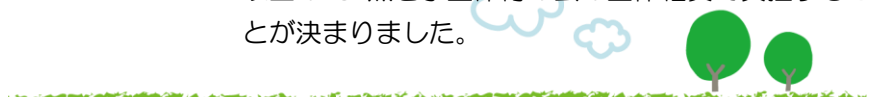
その結果

法定内超勤 上限 150 時間

法定外超勤 上限 200 時間

役員会議相当分の時間を上限に補填

以上の 3 点を学童保育の会の全体経費で負担することが決まりました。



2) パート指導員賃金の改定

中間決算ではパートの人件費が大幅に残っていたことから、人手不足の学童では求人を出しても応募がないことを全体で共有。また、「指導員の仕事に見合う時給の設定が必要」という意見から 100 円 UP の基本時給 1060 円に改定をしました。

改定後、「応募が来るようになった」と嬉しい報告が

届いています。

子どもの安全を守ること、子どものやりたいことを補償するためには、指導員の体制が不可欠になります。配置基準を満たした保育を継続できるよう人員確保に力を入れていきましょう。

3) フリー指導員制の導入

出産。育児休業中の代替指導員採用は期間雇用のため採用が難しく、欠員状態が続くクラブが多くありました。この問題を解決するために「フリー指導員制」を導入することになりました。

フリー指導員は出産・育児休業中のクラブへ配置されます。1 回の期間は概ね 1 年～1 年半。

手当の支給：新たなクラブへ配置される際、30,000 円の手当を支給。

※子ども達の特性を理解した保育に取り組む、保護者会の運営、指導員間の調整等異動時はフリー指導員の負担が多くかかることを考慮し、手当の支給をすることになりました。

4) 70 歳までの雇用延長

高齢者雇用安定法の定めにより、70 歳までの就業機会の確保（雇用延長）について検討してきました。検討にあたっては指導員からの意見も取り入れ、働く時間等から個人毎に現在ある勤務形態から選択。

1 年毎に更新を行い 70 歳まで雇用延長できるように制度が整いました。

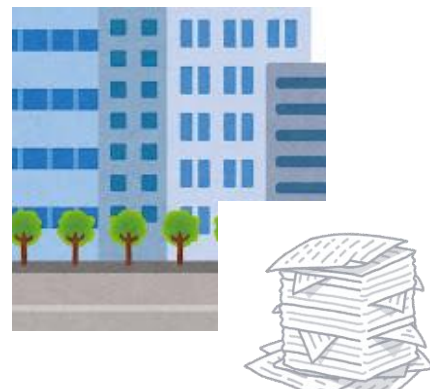
【再雇用の勤務形態】

勤務形態	短時間パート	雇保パート	社保パート	月給パート	時短指導員	月給指導員
週契約時間	20 時間未満	20～30 未満	30 時間以上	30 時間	30 時間	40 時間
社保加入	無	雇保	雇保・社保			
業務内容等	通常保育中心	通常保育中心	障害児在籍クラブ等	育児時短在籍クラブ対象	正規指導員の時短職員	代替指導員等

5) 国の「育成支援制度」にむけ各会から発信

国の新たな事業「育成支援体制強化事業」をさいたま市での導入を求めて、学童ごとに保護者会の業務や指導員の業務をまとめさいたま市へ提出。

2022 年度からのさいたま市の導入に繋げることができました。これまでの「税理士等加算」と併せ児童数に応じて最大 1,443,000 円の委託料が支払われることとなります。



6) その他

1. 正規指導員の扶養手当の改定

- ①子の中学校卒業まで 10,000 円
- ②中学校卒業の年の 4 月から 22 歳 3 月まで 15,000 円
- ③①②以外の扶養親族 7,000 円
※扶養親族とは、健康保険の被扶養者となっている者

2. 処遇改善特例の支給

2022 年 2 月からの支給額

- 正規指導員 11,000 円/月
- パート指導員 55 円/時間当たり

3. 退所 6 ヶ月以内の再入所 入所金減免ルール

退所 6 か月以内の再入所の際は、入所金を 5,000 円とする。この措置は 1 児童 1 回のみとする。

4. 新型コロナウイルス感染症を理由にした閉所時の保育料返還ルール

- ①さいたま市が「利用自粛」等を発出している期間、「利用料を日割りで返金する」この場合全ての児童を対象にお休みの日分を返金する。
- ②通常保育期間中にコロナの感染を理由に閉所された場合、あらかじめさいたま市と協議の上で閉所になった期間分の保育料を返金する。(保護者会で決めた閉所は対象外)

5. 指導員の新型コロナ予防接種時の休暇

	正規指導員	パート指導員
接種当日の扱い	接種は、勤務時間内に受けることができる。	お休みの日に接種していただく。
接種翌日以降、副反応が出た場合	副反応が発症し勤務できない日は、特別有休扱いとする。 期間は最長 10 日間。	通常シフトに入っている日に、副反応が発症し勤務できない日は有給補償をする。 期間は最長 10 日間。

この特別休暇は勤務規程の変更は行わず、時期限定の制度とする。
※お休みが 3 日以上となる場合は診断書の提出が必要です。



5. 運営委員会

前年度に引き続き全回 ZOOM 開催といたしました。

	テーマ
第 1 回	オリエンテーション・震災の体験談
第 2 回	非常時に関するチェック
第 3 回	洪水避難に関して・指導員の児童に対するスキンシップ
第 4 回	指導員が倒れた時の対応・おやつについて
第 5 回	今年度の振り返り

※第 2 回～5 回では Q ボ君点検表の交流もしました。

震災の体験談では阪神淡路大震災の被災者の方よりお話を聞くことができ、また第 3 回では洪水に関する対策がテーマで自然災害に対する備えを見直すきっかけ

となりました。

一方でおやつについては子ども達の学童生活を感じたり、他学童の事情を知る良い機会になりました。



6. 職員会議

さいたま市学童保育の会では、毎月 1 回、平日の午前中に全学童の指導員が集まり、2 時間職員会議を実施しています。コロナ感染防止の為、通年で Zoom 開催となりました。

2021 年度は『時間外労働について』が主な議題でした。指導員ひとりひとりが働き方を見つめなおし、業務がどのくらい時間外になるのかを日々、週次、随時、月次、年間等に分けて振り返り、クラブ間で共通している業務や時間数を確認しました。

その上で、法定内超勤 150 時間、法定外超勤 200 時間の補填を提案しました。また、代表で役

員に就いている指導員についてもスポットをあて、会議にでている時間帯の補填を理事会に提案しました。

今回の議題では、それぞれの指導員の働き方の違いや、考え方、工夫についても新しい発見などがあり、知識やアイデアを得るきっかけにもなりました。

Zoom での会議にも慣れ、積極的な発言をする指導員が増えてきました。2022 年度も会議はグループ交流を中心に、活発な意見交換を目指していきます。

【その他の取扱いテーマ】

- ◇ フリー指導員の導入について
- ◇ 児童とのスキンシップについて
- ◇ 学童に在籍している児童の不登校について
- ◇ 新入所の受け入れ準備について 等
- ◇ 理事会の内容の共有にも力を入れました。



